



2020年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日

上場会社名 株式会社ユビテック 上場取引所 東
 コード番号 6662 URL <https://www.ubiteq.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)荒木 克彦
 問合せ先責任者 (役職名)グループ管理部長 (氏名)手塚 佑介 (TEL)03(5447)6731
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第2四半期の連結業績(2019年7月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	846	△15.5	23	△68.9	24	△68.2	17	△70.1
2019年6月期第2四半期	1,002	△5.9	75	32.7	75	30.0	57	△24.5

(注) 包括利益 2020年6月期第2四半期 17百万円 (△71.2%) 2019年6月期第2四半期 60百万円 (△20.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第2四半期	1 17	— —
2019年6月期第2四半期	3 90	3 90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第2四半期	3,680	3,285	88.0
2019年6月期	3,633	3,310	89.8

(参考) 自己資本 2020年6月期第2四半期 3,238百万円 2019年6月期 3,263百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0 00	—	3 00	3 00
2020年6月期	—	0 00			
2020年6月期(予想)			—	—	—

(注)1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2020年6月期の期末配当については、現時点では未定であります。

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日~2020年6月30日)

2020年6月期の業績予想につきましては、現時点では当社として合理的な算定・予想を行うことができないため記載しておりません。開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年6月期2Q	14,791,600株	2019年6月期	14,791,600株
2020年6月期2Q	153,100株	2019年6月期	158,900株
2020年6月期2Q	14,633,709株	2019年6月期2Q	14,629,478株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 自己株式数については、ESOP信託が所有する当社株式（2020年6月期2Q：153,100株、2019年6月期：158,900株）を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題をはじめとする海外経済の不確実性等の懸念材料はあるものの、企業収益は高水準を維持し、雇用・所得環境も着実に改善しており、消費税率引き上げなどの影響を伴いつつも景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況の中で、当社グループはIoT技術、AI技術を活用し、お客様の経営資源活用における最適化及び働き方改革の実現を目指し、次世代のカーソリューション、リストバンド型端末で働き方改革を支援するソリューション、生産性向上を後押しする工場設備リアルタイム監視システムをはじめ各種開発業務や製品展開に注力してまいりました。具体的にはテレマティクス車載機については後継機の開発が完了し、2019年9月より「Gazelle（ガゼル）」として出荷を開始しました。また2018年に販売を開始した働き方改革支援ツール「Next Work」を刷新し、安全衛生見守り支援サービス「Work Mate（ワークメイト）」として2019年9月に販売を開始しており、工場設備リアルタイム監視システム「D-COLLECT」と合わせて2019年9月に「第2回名古屋ロボデックス～ロボット開発・活用展」に出展するなど、認知度の向上及び販路拡大に努めてまいりました。なお、「Work Mate」については、安全な職場環境構築についての有効性を検証するため、キリンビバレッジ株式会社の滋賀工場にて2019年9月から実証実験を行ったほか、国内工場からの新規受注も複数獲得致しました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は846百万円（前年同四半期比15.5%減少）、営業利益は23百万円（前年同四半期比68.9%減少）、経常利益は24百万円（前年同四半期比68.2%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17百万円（前年同四半期比70.1%減少）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

IoT事業

IoT事業は、カーシェア車載機の販売が増加したことに加え、テレマティクス車載機の受注も回復傾向にあることから、売上高、セグメント利益とも前年同四半期比で増収増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は390百万円（前年同四半期比29.4%増加）、セグメント利益は66百万円（前年同四半期比13.2%増加）となりました。

製造受託事業

製造受託事業は、紙幣鑑別センサモジュールが中国市場のキャッシュレス化の影響を受けていることや、通信アミューズメント機器について、前連結会計年度に一部供給製品の生産終了があったこと等により、売上高、セグメント利益とも前年同四半期比で減収減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は238百万円（前年同四半期比47.1%減少）、セグメント利益は37百万円（前年同四半期比42.4%減少）となりました。

開発受託事業

開発受託事業は、子会社のユビテックソリューションズにおいて、新規顧客の案件獲得があったものの、既存開発案件の規模縮小の影響をカバーするまでには至らず、売上高、セグメント利益とも前年同四半期比で減収減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は217百万円（前年同四半期比12.6%減少）、セグメント利益は4百万円（前年同四半期比81.9%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は3,680百万円となり、前連結会計年度末から47百万円増加しております。主な内容としましては、受取手形及び売掛金が38百万円、無形固定資産が33百万円増加し、現金及び預金が43百万円減少しております。

(負債の状況)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は395百万円となり、前連結会計年度末から72百万円増加しております。主な内容としましては、支払手形及び買掛金が39百万円、電子記録債務が38百万円増加しております。

(純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は3,285百万円となり、前連結会計年度末から25百万円減少しております。主な内容としましては、親会社株主に帰属する四半期純利益17百万円の計上、剰余金の配当44百万円によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、以下の各キャッシュ・フロー状況とそれらの増減要因により、前連結会計年度末に比べて43百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末は2,274百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は56百万円(前年同四半期は72百万円の支出)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益23百万円、減価償却費26百万円、売上債権の増加30百万円、たな卸資産の増加34百万円、仕入債務の増加77百万円、法人税等の支払10百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は58百万円(前年同四半期は41百万円の支出)となりました。これは有形固定資産の取得による支出10百万円及び無形固定資産の取得による支出47百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は42百万円(前年同四半期は43百万円の支出)となりました。これは主に配当金の支払44百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループといたしましては、主力製品であるATM向け紙幣鑑別センサモジュールと通信アミューズメント機器の販売が減少傾向にある一方で、IoTに係る新製品・新サービスの開発及び新規顧客の獲得を目的とした販促活動を進めながら、新たな収益基盤の確立・創出に積極的に取り組んでおります。

そのため、2020年6月期の業績予想については、売上構成比及び収益構造が大きく変わることが予想され、現時点では合理的に算定することが困難であることから、未定といたしました。今後、連結業績予想の開示が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,818,281	2,774,333
受取手形及び売掛金	407,553	445,809
電子記録債権	28,105	20,073
製品	38,015	55,099
仕掛品	5,451	24,402
原材料及び貯蔵品	47,116	45,213
その他	21,906	18,641
貸倒引当金	△801	△603
流動資産合計	3,365,628	3,382,969
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	65,217	65,217
減価償却累計額	△18,916	△20,994
建物及び構築物(純額)	46,301	44,222
工具、器具及び備品	201,785	187,538
減価償却累計額	△167,793	△161,397
工具、器具及び備品(純額)	33,992	26,141
建設仮勘定	1,236	9,750
有形固定資産合計	81,529	80,113
無形固定資産		
その他	137,934	171,868
無形固定資産合計	137,934	171,868
投資その他の資産		
繰延税金資産	4,277	4,291
その他	43,793	41,480
投資その他の資産合計	48,071	45,772
固定資産合計	267,535	297,754
資産合計	3,633,164	3,680,724

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,125	98,910
電子記録債務	115,628	153,817
未払金	16,357	16,871
未払法人税等	17,478	12,475
賞与引当金	2,032	1,942
製品保証引当金	3,272	3,270
その他	47,558	46,955
流動負債合計	261,452	334,243
固定負債		
株式給付引当金	39,870	40,731
退職給付に係る負債	21,741	20,691
固定負債合計	61,611	61,423
負債合計	323,064	395,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	941,473	941,473
資本剰余金	655,375	655,375
利益剰余金	1,722,986	1,695,670
自己株式	△55,868	△53,829
株主資本合計	3,263,967	3,238,690
新株予約権	14,876	14,876
非支配株主持分	31,255	31,490
純資産合計	3,310,099	3,285,057
負債純資産合計	3,633,164	3,680,724

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)
売上高	1,002,382	846,971
売上原価	769,731	642,264
売上総利益	232,651	204,707
販売費及び一般管理費	157,606	181,343
営業利益	75,045	23,363
営業外収益		
受取利息	180	182
生命保険配当金	387	304
未払配当金除斥益	176	268
その他	60	38
営業外収益合計	805	793
営業外費用		
為替差損	21	57
株式交付費	5	—
その他	6	4
営業外費用合計	32	61
経常利益	75,818	24,095
特別利益		
受取保険金	1,549	77
特別利益合計	1,549	77
特別損失		
固定資産除却損	—	584
特別損失合計	—	584
税金等調整前四半期純利益	77,367	23,588
法人税、住民税及び事業税	10,378	6,309
法人税等調整額	9,335	△13
法人税等合計	19,713	6,295
四半期純利益	57,653	17,293
非支配株主に帰属する四半期純利益	604	234
親会社株主に帰属する四半期純利益	57,049	17,058

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	57,653	17,293
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,448	-
その他の包括利益合計	2,448	-
四半期包括利益	60,102	17,293
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	59,375	17,058
非支配株主に係る四半期包括利益	727	234

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	77,367	23,588
減価償却費	14,945	26,448
受取保険金	△1,549	△77
株式報酬費用	20	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	158	△197
賞与引当金の増減額(△は減少)	△159	△90
製品保証引当金の増減額(△は減少)	5,273	△1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△955	△1,050
株式給付引当金の増減額(△は減少)	3,094	861
受取利息及び受取配当金	△180	△182
為替差損益(△は益)	△0	△1
株式交付費	5	—
固定資産除却損	—	584
売上債権の増減額(△は増加)	△39,976	△30,224
たな卸資産の増減額(△は増加)	△65,401	△34,131
仕入債務の増減額(△は減少)	△29,966	77,974
その他	△19,260	3,904
小計	△56,585	67,404
利息及び配当金の受取額	3	4
保険金の受取額	1,549	77
損害賠償金の支払額	△1,784	—
法人税等の支払額	△15,364	△10,843
営業活動によるキャッシュ・フロー	△72,182	56,644
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,917	△10,603
無形固定資産の取得による支出	△32,823	△47,937
敷金及び保証金の差入による支出	△80	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,820	△58,540
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	574	—
自己株式の処分による収入	35	2,039
配当金の支払額	△44,125	△44,091
財務活動によるキャッシュ・フロー	△43,515	△42,052
現金及び現金同等物に係る換算差額	225	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△157,293	△43,947
現金及び現金同等物の期首残高	2,377,213	2,318,281
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,219,920	2,274,333

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	I o T事業	製造受託事業	開発受託事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	302,202	451,446	248,733	1,002,382	—	1,002,382
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	302,202	451,446	248,733	1,002,382	—	1,002,382
セグメント利益	58,434	65,337	22,991	146,763	△71,717	75,045

(注) 1. セグメント利益の調整額△71,717千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△71,717千円であり
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	I o T事業	製造受託事業	開発受託事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	390,918	238,659	217,393	846,971	—	846,971
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	390,918	238,659	217,393	846,971	—	846,971
セグメント利益	66,170	37,653	4,168	107,992	△84,628	23,363

(注) 1. セグメント利益の調整額△84,628千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△84,628千円であり
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。